

社長からの新年メッセージ（ハートフルかえで へ）

平成19年1月 岩国メディカルサポート 藤本俊文

明けましておめでとうございます。なかなか皆さんと一堂に会し、お会いできませんので、書面にてご挨拶致します。

新年を迎えたとはいえ、昨年3月にハートフルかえでを開設して、まだ1年になりません。まだ1歳にならない、よちよち歩きの赤ちゃん施設です。この施設が今後どのように成長していくかは周囲の人の育て方によって決まってくる。今はしつけの時期です。厳しすぎてもいけず、甘やかしてもいけない。きちんとした習慣を身につけさせ、制度を確立し一人歩きできるようにさせることが、次の1年で大事なことでしょう。

介護業界は政策によって意図的に甘くもきつくもなります。現に介護保険創設当時は制度も甘くして、どんどん参入させ、適当に増えてくると、徐々に厳しくしてきています。制度を運用してみて、補正（改正・改悪？）しながら法案を変更し、制度として通達一つで書類・規則も増え、仕事を増やし、逆に介護報酬は徐々に下げる方向で推移しています。いずれ、経済的に自然淘汰してくる施設が出てくるでしょう。そのような社会情勢の中、介護の質を維持・向上させるためには職員が一丸となって、勉強し対処することが要求されています。

まだ、十分なお金をかけて職員の親睦を図ることは出来ませんが、その機会だけは作りたいと思っています。そういったチャンスにはなるべく多くの職員に積極的に参加して頂き、普段話しをすることが少ない人とも世間話でもして頂き、更には仕事や技術面など自己向上のための話しもして頂きたいと思います。話しをしないと、その人がどのような人かも分かりません。事務室に掲げてあるロータリーの4つのテストの中に『真実かどうか』というのがあります。噂でなく、その人にあって話しをし、そこで理解したものが真実です。何事も、真実を土台にして話を進め、行動して欲しいと思います。

さて、皆さん方の中でも新年を迎え今年は何をやるかと考えている方が多いと思います。

山本有三の著書で『真実一路』というのがあります。その中の一節に

「たった一人しかいない自分を
たった一度しかいない一生を
ほんとうに生かさなかつたら
人間に生まれてきたかいがないじゃないか」

という言葉があります。自分という一人の人間が、なぜ生かされているか？どのように自分の生きた足跡を残していけるか？人間の行動・思考はいろいろですが、最終的にどのような評価を受けるかが大切ではないでしょうか。そういった良い評価が受けられるように努力してこそ、人生は素晴らしいものになるのではないかと思います。これは決して他人からの評価のみをいうものではありません。誰でも迎える人生最後の日に、自分の人生を振り返ってみて、「ああ、いい人生だった」と思えるかどうか、自分で評価できるかどうか問題です。

私は常々『人がいて自分がある、その人のためにできることを』と言っていますが、そのような人生を送れたら自分の最後の日に「ああ、人の役に立ち、価値のある人生だった」と思えるのではないのでしょうか。皆さんも、何をすることが自分の人生にとって価値が見いだせることなのか、よく考えて仕事をしてみて下さい。この1年、一緒に考えながら、しかし猪のように突っ走りましょう。